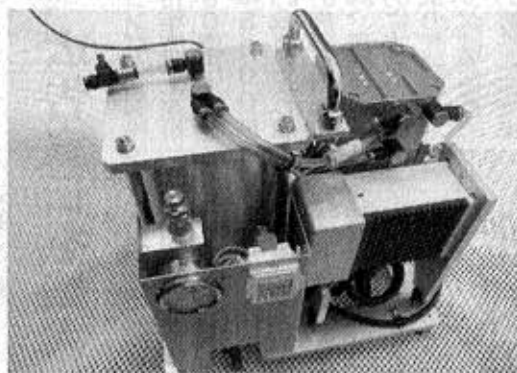


坂製作所

# 空気圧縮機を量産

## 受注好調、月産100台体制

坂製作所（京都市右京区、坂栄孝社長、075・463・4214）は、同社初の自社製品として独自開発した小型コンプレッサー（空気圧縮機）を相次ぎ受注した。手のひらに乗るサイズや静音、省エネルギー性能、低価格が評価され、ワコールやアドバン理研（京都府八幡市）、マイコム（京都市西京区）に納入を開始。今秋には量産設備も導入し、月産能力を現在の35台から2015年までに100台へ増やす。



独自開発した小型コンプレッサー

小型コンプレッサーは、盤の小型化や設計の簡素化でコンパクト化した。縦型が高さ240mm×幅160mm×奥行き160mm、空圧で浮揚する非接触スリット、質量4kg。操作クロールの回転で空気を

圧縮する仕組みで、通常のヒストン式圧縮に比べ静音性も高めた。ワコールにはテスト用

生産設備の駆動源として納入。音が静かなため、設備の打ち合わせをする際も止めずにすむ長所が評価された。小型窒素ガス発生装置トップメーカーのアドバン理研には、部品として供給。同装置は機体の約半分をコンプレッサーが占めるため、部品の小型化で機体も大幅に小さくできる。マイコムにはハンダ付けロボットの空気源として納める。配管で圧縮空気を送る設備が不要になるため、同ロボットの販

売促進につなげる。必要な箇所だけ空気を供給できるため省エネで、固定具や刻印・プレス・かしめの各機械、病院設備にも販路を広げている。今秋にはスクロールを一度に9個把持し加工で

きる治具を約1000万円投じて導入し、生産能力を高める。製品価格は8万円（0.8が効）に抑えたが、骨格部品を自社の中国工場で加工し生産コストを下げる。受注が伸びれば近隣の

第2工場でも生産する。性能面では14年までに空気供給力を毎分5リットルから同10リットルに増やし、騒音を53デシベルから45デシベルに下げる。小型コンプレッサーは本業の精密部品加工に次ぐ柱に育てていく。

日刊工業新聞

2013年(平成25年)8月23日 金曜日